

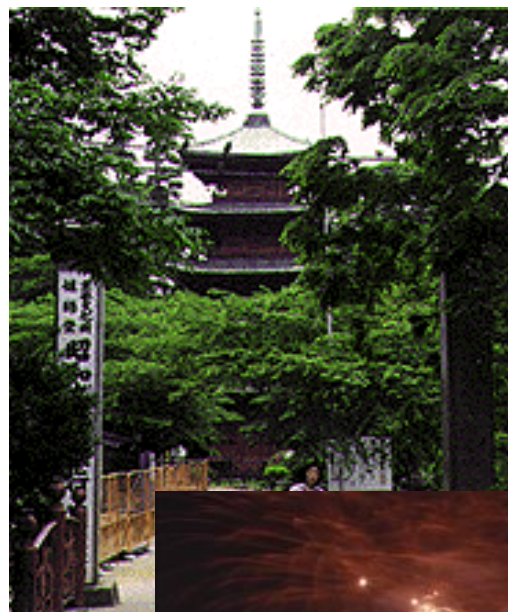
# 市川市の保健師たち

市川市こども部  
鎌形喜代実

保健師中央会議 平成23年10月7日



# 市川市 <まちの風景>



# 市川市の人口構成の特徴

人口	473,620人	
年齢3区分別人口		
15歳未満	61,452人	13.0%
15~64歳	331,302人	70.0%
65歳以上	80,866人	17.0%

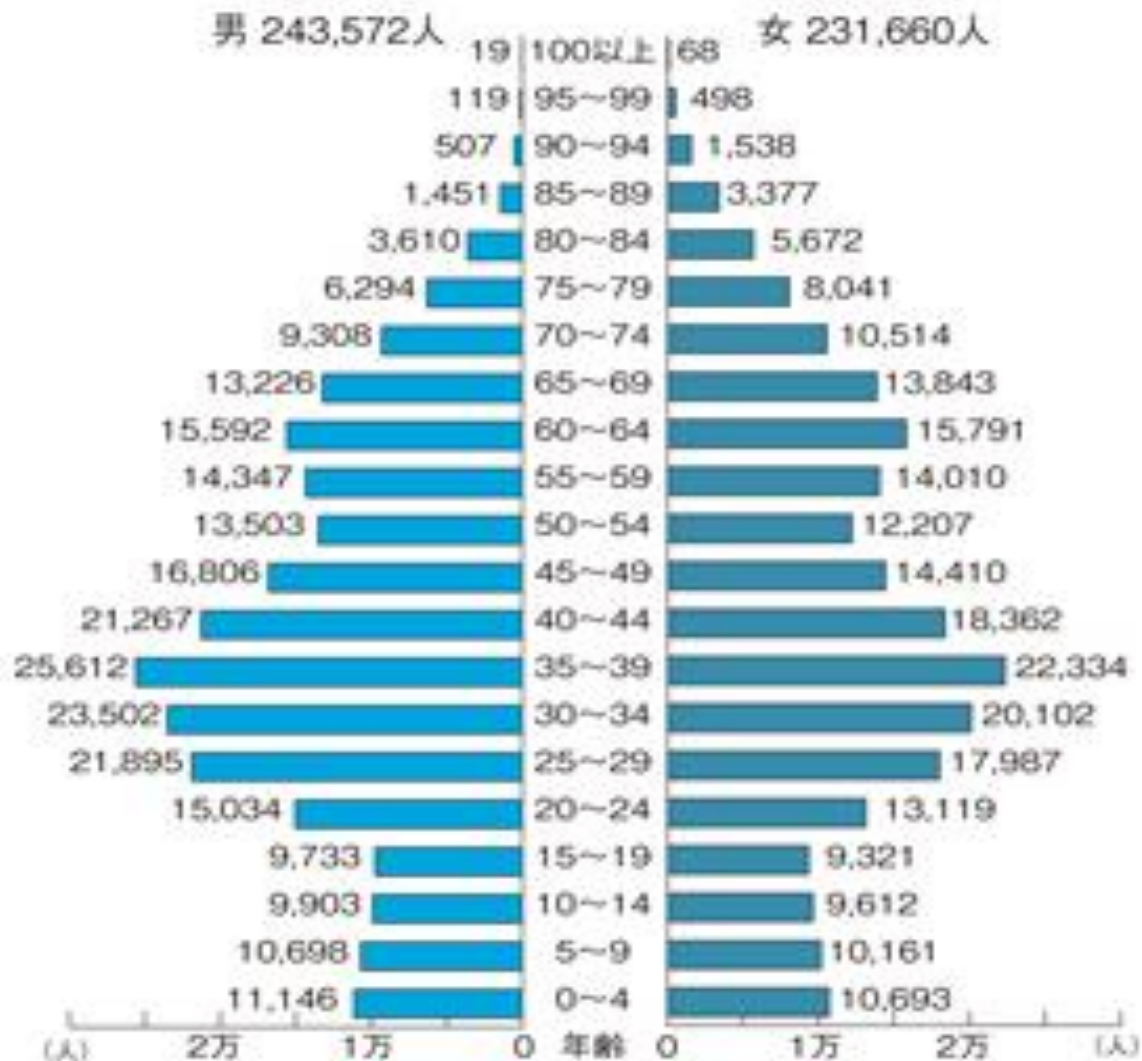
乳幼児 > 小中学生

年間出生数  
約5,000人

高齢化率  
17.1%

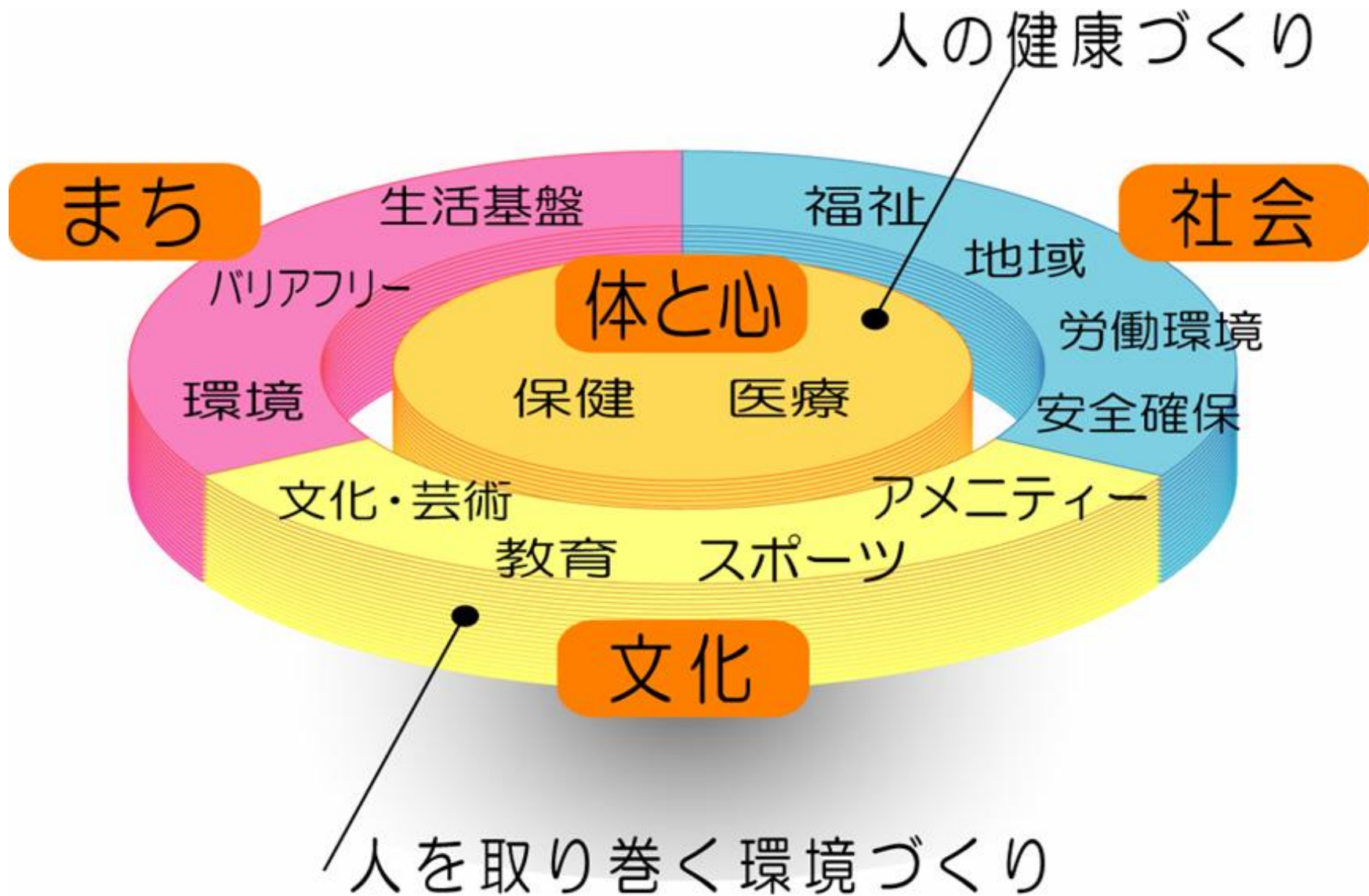
子どもの年齢	人口	0歳人口との比較
0歳	4,492人	
6歳	4,123人	▲369人
12歳	3,942人	▲550人
15歳	3,783人	▲709人

# 市川市 年齢別人口構成



(住民基本台帳および外国人登録の年代別人口)

# WHO健康都市 いちかわ



# 市川市 保健師活動の拡大

保健師の業務は、  
社会背景の変化により

新たな分野での活動が要求される

高齢化社会  
少子化社会

自殺者増加  
危機管理  
支援



高齢者対策・介護保険  
子育て支援・母子保健

児童虐待  
発達障害

自殺対策

インフルエンザ、被災者支

# 市川市保健師配置 58人

H23年度

配属先		人数	うち管理職
総務部	職員課	2名	
福祉部長		1名	1名
福祉部	高齢者支援課	1名	
	介護保険課	2名	
	地域福祉支援課	6名	3名
	福祉事務所	1名	
こども部長		1名	1名
こども部	子育て支援課	3名	
	発達支援課	2名	1名
保健スポーツ部	保健センター健康支援課	36名	4名
	保健センター疾病予防課	3名	1名
合計		58名	11名

■平均年齢 35.7歳

■管理職率 19.0%



# 保健師分散配置の効果

- 保健師の医療知識と対人援助の技法は福祉・教育分野で活かすことができる。
- また、看護計画実践をベースとした問題対処の技法は、さまざまな行政問題に応用できる。
- 未経験の分野でも一般事務職との共同で業務を行うことにより視野が広がり、保健師が成長できる機会となる。

# I — ① 保健師とは・・・ →スペシャリスト

(保健師の仕事の本質)

- ・地区活動 地区診断、問題点を把握  
1年間の活動計画
- ・PDCA 目的・目標の明確化・フィードバック
- ・統計作成 根拠の明確化
- ・ネットワークづくり

**市民のニーズに耳を傾け、問題解決へ向かう  
姿勢と責任感**

# I — ② 保健師とは・・・

## → 幅広い活動

(保健師の気質)

- ・おせっかい
- ・仕事のテリトリーにこだわらない
- ・活動が拘束されることが少ない
- ・自己研鑽にやけに励む

# I — ③ 保健師とは・・・ →伝えることに工夫する

(保健師の高いプレゼン力)

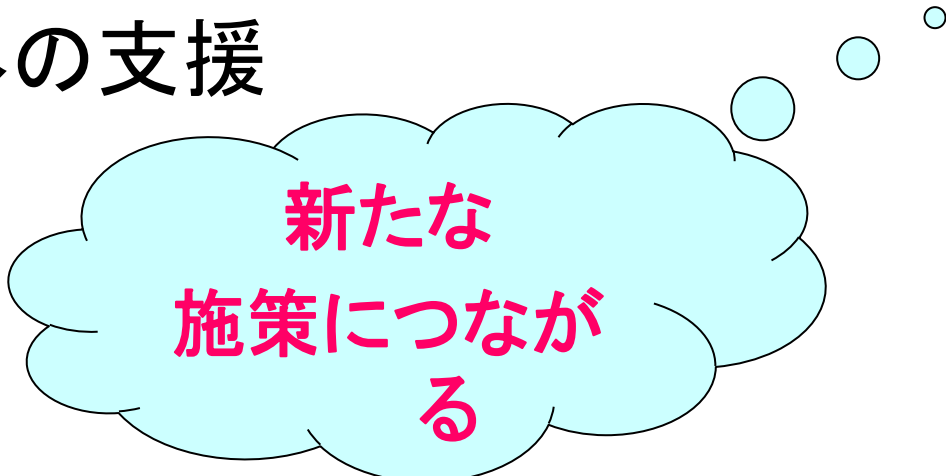
- ・日ごろから市民へのプレゼンを行っている
- ・どのような相手に、どのような媒体を使ってどのように伝えれば効果的かを、考えて工夫している

## Ⅱ一① 私の履歴書

○1992年(H4年)～

「在宅で介護が必要な人への支援のあり方」を  
検討し、保健・福祉・医療の連携を図る

- ・医療ニーズの高い人の支援
- ・認知症の介護への支援
- ・一人暮らし高齢者への支援



新たな  
施策につな  
がる

## Ⅱ一② 私の履歴書

○1996年(H8年)～

「コーディネート事業の確立」

- ・サービス中心から生活支援へ
- ・プランの作成→ 介護保険制度
- ・介護保険事業者連絡会を発足
- ・在宅介護支援センターの充実



介護保険制度に  
つながる

## Ⅱ一③ 私の履歴書

○2006年(H18年)～

### 子育て支援の充実

- ・地域の子育て支援の拠点として保育園を活用
- ・虐待・障害児の対応の拡大→個別支援計画作成
- ・要保護児童支援のネットワーク作成
- ・在宅の子育て支援→産後ヘルパー・育児サークル(協働)
- ・保育園入所 待機児童の解消→  
保育園創設と、幼稚園の預かり保育の実施

施策を  
提案・決定できる

# 市川市の人材育成の特徴

- ① 職位に応じた体系的な職員研修の実施  
新人から管理職まで履修
- ② 管理職登用試験の実施  
課長・主幹職、昇任試験（H11年～）
- ③ 人事評価の実施（年2回）  
勤務の客観的評価を上司と共有
- ④ IT化による庁内情報の共有  
職員のPCにLANシステムで情報提供



# 保健センター 人材育成の特徴

## ① ジョブコーチ制度

新規採用者の指導担当を個別に任命

## ② 地区担当保健師（チーム性）

地区の特徴を生かした保健活動の実施

## ③ 業務を担当する

業務の企画から予算決算まで担当

## ④ 業務内容の統計化

統計結果の分析による地区診断・業務管理

## ⑤ 活動報告書の作成（年1回）

# 行政組織で活用できる 保健師の育成

- ① 市川市の人材育成体制による  
自治体職員の育成
- ② 保健センターにおける  
専門分野の教育

# 市川市の保健師活用のポイント

- ① 地域保健現場での豊富な経験
- ② 新しい分野の仕事に柔軟に挑戦
- ③ 自治体行政職の経験を積む
- ④ 積極的に昇任試験を受ける

地域住民の課題を  
解決するためには  
施策につなげていく必要がある



政策決定に参加できるのは管理職